

## 第1回 代表者研修会報告

日時：令和3年5月14日（金）14：00～

会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

司会：鈴木 理香 副会長

### 1 あいさつ

#### (1) 静岡県養護教諭研究会

臼井 悦子 会長

皆様、こんにちは。私は、令和2年度より、会長を務めさせていただいております、小山町立小山中学校の臼井悦子と申します。よろしくお願ひいたします。

本日は、健康診断や学校行事等のお忙しい中、また、昨年度から続くコロナ禍の中、県下各地からお集まりいただきまして本当にありがとうございます。

さて、昨年度から研究会では、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、今期のテーマである「多様化する健康課題へ柔軟に対応できる養護教諭を目指して」に向けて様々な事業に取り組んで参りました。例えば、年3回の代表者研修会については、1回目が紙面にて、2回目は人数と時間を減らして、3回目はZoomによるオンライン会議というようにコロナ以前にはなかった対応を行いました。本日も人数と時間を減らしての開催とさせていただいています。今後、アフターコロナやwithコロナと呼ばれる時代に入るとしても、変化の時が来ていることは間違いありません。幸い私たち養護教諭は、常に子供たちの変化に敏感に気付き柔軟に対応することに長けています。そして、今まで諸先輩方が積み上げてくださった組織力と実践力により、共に乗り越えていけると信じております。

本年度の静岡県養護教諭研究会は、政令市を含め、783名の会員からスタートしております。本研究会は会員の皆様はもちろん、静岡県教育委員会や学校保健会、また静岡大学等の関係機関の多くの方に支えていただいております。昨年度は、養護教諭として教職大学院への道が開かれました。本日お集まりの15地区の理事の皆様には、地区の会員や校長会、市町教育委員会とのパイプ役になっていただき、研究会の活動を円滑に推進していくことができるようお力添えをお願いします。各地区で何か相談事等がありましたら、各地区の副会長にお話しただけたらと思います。

最後になりましたが、今年度より、研究会の顧問校長として、長泉町立長泉中学校 和智俊明先生をお迎えしました。和智先生には、幅広い視野からの御助言や御指導をいただきますようどうぞよろしくお願ひいたします。

#### (2) 静岡県養護教諭研究会顧問校長

和智 俊明 校長

みなさん、こんにちは。本年度から、顧問校長を務めさせていただきます、長泉町立長泉中学校の和智俊明と申します。よろしくお願ひいたします。

昨今の頃は休校中で、学校での健康診断がなかなかできなかったと思います。ある教員から「今年は健康診断をやらないですね」という言葉を聞いた時、学校保健安全法に

定められている健康診断をどうしていくのだろうと思いつつも、教員の学校保健に関する意識の低さとこれからドクターと調整していく健康診断を行っていく養護教諭の大変さを感じたことを思い出します。今年健康診断は順調に進んでいますか。昨年度、例年のスケジュールで健康診断をはじめ保健指導ができなかったことで、引き続き苦勞している先生も多くいるのではないかと思います。

養護教諭は、一人配置の学校がほとんどなので、「一人職の大変さ、重さ」というものを感じて職務にあたっていると思います。児童生徒の対応はもちろんのこと、保護者の相談を受けたり、職員の健康状態についても気遣ったりしていると思います。また、コロナ等の感染症対応はどうしても必要になってくるだろうと思います。本校では、本日、自然教室に行っていますが、一週間前にしおりの読み合わせ等をしていた時、養護教諭から「食堂での密が予想される状態でコロナ対策は大丈夫ですか」また「お風呂は大丈夫ですか」「就寝時はこれで対応ができますか。私は心配です。」と提案がされると、運営委員会で協議し「日帰りにしよう」と日程を変更しました。私が打ち合わせの数日前から日帰りを提案してもなかなか理解されませんでした。養護教諭が専門的な見地から発言していくことで、再検討し、安心安全な学校行事を実施することができました。ぜひ、専門職としての力量を研修会で高めていただいて、養護教諭の立場から学校運営に関わっていただけたら有り難く思います。

養護教諭研究部では、代表者研修会をはじめ、新型コロナウイルス感染症の対策を考えた提案がされています。今後、感染症の対策を十分に考慮した研究会の持ち方や学校での保健指導等を行っていくこととなります。養護教諭研究会がお手本となるような取組の提案をぜひよろしくお願いいたします。

### **(3) 静岡県教育委員会健康体育課健康食育班**

**岡村 めぐみ 教育主幹**

みなさん、こんにちは。静岡県教育委員会健康体育課の岡村めぐみと申します。よろしくお願いいたします。3年目を迎えました。振り返ってみると、やはり昨年のコロナ対応がとても大きかったと強く感じます。感染症対策を踏まえた学校保健の推進についても、勉強させていただくことがとても多かったです。静岡県の健康教育を推進するに当たっては、現場で動く養護教諭の先生方のお力があってのことと、感謝申し上げます。ありがとうございます。この後、所管事項の中でも、感染症対策を踏まえた話やお願い事が多くなるとは思いますが、今後とも御協力をよろしくお願いいたします。

### **(4) 静岡県学校保健会**

**細田 英生 事務局長**

みなさん、こんにちは。静岡県学校保健会事務局の細田と申します。本年度で4年目になります。皆様にお力添えいただきまして、学校保健会の事業も何とかやってくることができました。昨年度は、「コロナ禍の中で学校にできるだけ負担をかけないようにしよう」「先生方や子供たちのために学校保健会として何ができるだろう」といろいろ考えてみましたが、十分な事ができず本当に申し訳なく思います。コロナの話はいろいろな先生方から出ていますが、学校保健会としても「本年度は何とかやれるのではないか」「普通にでき

るのではないか」と思っていたのですが、ここにきて変異株の影響等で感染者が増えてきているということで、今後の見通しがなかなか持てないような状況になっており、困ったと思っています。学校の先生方が子供たちのために本当に一生懸命にやられている中で、その先頭に立ってやっている養護教諭の先生方に感謝いたします。ぜひ、子供たちや先生方のために先頭に立ってやったださる皆様自身の健康も考えていただいて、学校の中で御活躍いただきたいと思います。

資料を準備してきましたので、ここで説明させていただきます。資料の中に学校保健会の組織図を載せてあります。学校保健会は、大きく2本柱になっています。1つは、図の左側の義務教育の関係になります。こちらは、県内16地区の学校保健会が対応しているということになります。これは、政令市も含めてということになります。右側は、高等学校、特別支援学校、沼津高専、加入している10校の私立学校の関係になります。こちらは県3地区の高等学校保健会で対応しています。本年度の幹事校は図の中に書いてある3校になり、まとめてくださるのが、島田工業高等学校となります。あと、図の下の方になりますが、6つの団体からいろいろ御支援、御協力をいただいております。皆様の静岡県養護教諭研究会からも御支援をいただいております。ありがとうございます。

それでは、本年度の年間計画を見ていただきたいと思います。希望を持って立てた計画です。今後どのようになるか分かりませんが、計画を見ていただきたいと思います。その中で、先生方に特にお願いしたいことは、学校保健活動推進事業の中の「第43回中学校・高等学校生徒保健委員会活動発表会」と「第50回学校保健新聞コンクール」の2つの事業につきましては、コロナ禍の中で、重要性が益々確認されてきているのではないかと感じています。皆様の学校でも、お力を入れて取り組んでいると思います。ぜひ、頑張っている先生方や子供たちを認め、賞揚していきたいと思いますので、各地区の学校に参加を呼びかけていただけると有り難く思います。

学校保健会の大きな課題として、県大会をどうするかということがあります。本年度の「第60回静岡県学校保健研究大会」は11月11日に志太地区さんをお願いをして、現在のところは焼津文化会館での実施を計画していますが、状況によっては開催方法を考えなければなりません。このことが大きな課題だと思います。昨年度から県大会の持ち方、開催順については検討をしております。本年度も検討を重ねていく予定ですが、コロナ禍の中で会議ができるかどうか、難しさもあります。うまく改変をしていきたいと思いますので、ぜひ御指導いただければと思います。

今後も、大変なことが多いと思いますが、一緒になって子供たちのために事業を進めて行ければと思っていますので、お力をお貸しいただきたいと思います。

#### **(5) 静岡県中学校体育連盟**

**静岡市立長田南中学校 本山 太郎 理事長**

みなさん、こんにちは。静岡県中学校体育連盟の理事長をしております、本山と申します。日頃より大変お世話になっております。

養護教諭派遣依頼についての資料を見てください。毎年のお願いになりますが、例年養護教諭の先生方には、それぞれの会場で行われます静岡県総合体育大会に於いて、救護役

員として、大会への御協力をいただいております。資料の1ページ目をお願いの文書をご載せさせていただきました。例年、この県大会は非常に暑い時期に行うこともあるため、熱中症対策が非常に大きく言われますが、本年度は、新型コロナウイルス感染症への対応も大変重要になってきますので、先生方にはいろいろな面で御協力をいただかないと、運営が難しいと感じておりますので、是非とも御協力をお願いします。

2・3ページに本年度の大会日程を載せてあります。それぞれの競技と会場ごとに大会の救護役員として派遣要請をさせていただきたい人数を載せてあります。それぞれの大会ごと、会場が異なるため多くの支部をお願いをしなければならなくなっています。3ページに競技ごとの担当校長、担当理事、担当部長を載せてあります。剣道の大会期日の変更をお願いします。7/27～7/28を7/24～7/25に変更してください。曜日の間違いはありません。各支部の代表の先生方には、2ページの要請表を見ながら、割り振りをお願いします。

5ページは、各支部の役員名簿になります。14支部それぞれに会長、理事長がおります。各支部の理事長から代表の先生方に連絡をさせていただき、派遣していただける先生方のお名前等を確認させていただきます。早いところでは、6/5～6から予選会がスタートするため、すでにお願いをさせていただいている支部もあるかと思っております。これ以降、県大会に関わるることについて連絡を取らせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

もう1冊の配付資料は、新型コロナウイルス感染症、感染拡大予防ガイドラインとなっております。大会を行うに当たり、このようなガイドラインを出させていただいておりますが、競技によってはこの通りではないこともあります。例えば、観客について、選手一人につき保護者1名は認められることになっていますが、会場の広さ等で制限がかけられている場合は、当然、無観客での開催となります。また逆に河川敷等で行う場合は、密にならない間隔を取りながら、保護者を入れて行うこともあります。あくまでガイドラインという形ではありますが、県中体連として今回の県大会を行うに当たっての取るべき対策としてまとめさせていただきましたので、内容を確認していただけるようお願いいたします。

終わりになりますが、毎年、養護教諭の先生方が来てくださることで、競技役員が大会に集中することができ、子供たちも安心して全力でパフォーマンスをすることができているという現状があります。今後とも、先生方のお力をお借りしながら、よりよい大会運営、子供たちの一生の思い出に残るような大会にしたいと考えておりますので、是非とも御協力いただければと思います。

## 2 静岡県教育委員会所管事項

(資料 地区理事に配付済み)

静岡県教育委員会健康体育課健康食育班

岡村 めぐみ 教育主幹

新型コロナウイルス感染症への対応が始まって、約1年が経ちました。感染事例等から対応のポイント等が分かり始めたところに変異株の出現があり、学校における感染症対策の継続と徹底が求められています。養護教諭の先生方には、状況の変化に応じて、敏感に、そして柔軟に、確実に対応できるように、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

保健管理の「感染症への対応」について

4月28日に「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル Ver.6」が出され、先生方のお手元に届いていると思います。それにより、各地区、各学校で感染症対策の見直しや確認を行っていただき、対応していただいていると思います。今回の衛生管理マニュアルでは、変異株についての記載が追加されています。どの年齢でも感染する可能性があり、その感染力の強さから、子供への感染も注意していく必要があります。各校においては、これまで行ってきた3密の回避、マスクの着用、手洗いなどの基本的な感染症対策を徹底していただくようお願いします。今一度、各学校での取組について確認をしていただき、総点検という形でチェックをしていただきたいと思います。そのためにも、保健管理体制を学校の中でしっかり構築していただく必要があると思います。学校全体での取組を進めていただきますようお願いいたします。

家庭との連携として、児童生徒等に発熱等の風邪の症状がある場合には、登校しないことを徹底することについても引き続きよろしくお願いします。そのためにも、各家庭の理解と協力が不可欠だと思います。また、毎日の健康観察の実施、同居家族の健康管理にも協力が得られるように、適切な情報発信と協力の呼びかけをお願いします。

学校においても、引き続き朝の健康観察を確実に行うこと、学校生活の様々な場面で全職員の共通理解のもとで健康観察が実施されるようお願いいたします。

感染症予防のための指導の必要性について、学年が上がるにつれて、子供たちの自主的な活動が増えてきます。活動の範囲も広がってきます。これらの特徴を踏まえて、児童生徒自身が感染症対策についてよく考え、判断し、行動選択ができるように、発達段階に応じた継続的な指導をお願いします。普段から行っている感染症対策を徹底していくことが一番の予防に繋がります。

最近の感染症の様子から、今、児童生徒の感染が増えてきていることは事実です。毎日の県の発表からも、未成年者の感染が多くなっています。家庭内感染が多いことから、学校に持ち込まないようにするためにも、発熱等の風邪症状がある場合の登校を控えることへの協力や朝の健康観察がとても大切になってきます。

今、感染事例の中で陽性者が始めている理由の一つに「会食」が上げられています。学校の中での配慮事項としては、学校給食での昼食の場面で十分気をつけていただき、黙食を続けていただきたいと思います。また、食事が終わった後のマスク着用など、もう一度徹底をしていただきたいと思います。また、授業や部活動が終わった後には、気をつけて速やかに帰宅するなどの日々の指導をしっかり行っていただきたいと思います。ほんの少しの隙間から感染が広がってしまうこととなりますので、基本的な感染症対策をより確実に継続して行っていただき、教育活動が継続できるように御協力をお願いします。

心のケアについては、誹謗中傷のことが言われていますが、引き続き学校での指導や保護者への情報発信、啓発をお願いしたいと思います。感染症に関連した差別だけでなく、いじめ、自殺、児童虐待等、様々な現代的健康課題への対応が求められています。心身の健康状態の変化やサインに気づき、適切な対応が行えるように、学級担任等と連携したきめ細やかな健康観察を日常的に行い、学校体制の整備をしていただきたいと思います。

#### 「疾病管理」について

現在、定期健康診断を実施していただいておりますが、本年度の定期健康診断については6月30日までの実施を基本をお願いをしています。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響によって、実施が困難な場合は、年度末までの間で、可能な限り速やかな実施をお願いします。実施を見合わせたり延期したりする場合は、保護者への連絡をしていただき、その間の健康管理を十分に行っていただくよう御協力をお願いします。

#### 「アレルギー疾患への対応」について

昨年度、ガイドラインが出て、新しい管理指導表をお配りしました。順次、新しい管理指導表への変更をお願いします。昨年度の調査の結果から、アナフィラキシーに関しては増加の傾向が見られますので、各学校での対応や体制作りを徹底して行っていただきたいと思っております。アレルギー疾患への対応について、食物アレルギーの該当児童生徒がいないため教職員への共通理解を図っていないという回答がありましたが、学校生活のどの場面で起こるかは分からないので、該当児童生徒がいない場合でも、アレルギー対応について体制を整備し、全職員への周知をお願いしたいと思っております。

#### 「熱中症予防」について

これから熱中症が心配される季節になります。感染症対策を講じながらの熱中症対策となり、大変だと思いますが、衛生管理マニュアルにも記載がある通り、熱中症は命に関わる危険性があることを踏まえて、熱中症への対応を優先するようお願いします。季節柄、今後、熱中症対策についての通知が出されてくると思っておりますので、そちらの通知を見ていただき、例年の傾向から予想される対策をできるだけ早めに行うようお願いします。

#### 「端末利用」について

一人一端末の利用推進から、新たな健康課題が出てくることが考えられます。予防的な措置も含めて、児童生徒の健康への配慮事項について共通理解を図り、心身への影響が最小限にとどめられるようお願いしたいと思います。ただし、影響がすぐには出てこないと思うので、視力の低下や運動面での表れなど、予想される影響への対策を考えて進めていただきたいと思います。

衛生管理については、資料を読んで確認してください。

#### 「保健教育の推進」について

本年度、中学校では、学習指導要領に基づいた指導が全面実施されています。合せて、保健教育も学校教育活動全体の中で推進されるようお願いします。

令和3年度のがん教育総合事業について、現在申請中のため、決定はしていませんが、本年度のモデル校は藤枝市立青島北中学校に依頼をしております。各校においてはがん教育を学校保健年間計画に位置づけ、教育活動全体を通じて適切に行うようお願いいたします。

#### 「本年度の研修予定」他

昨年度、新型コロナウイルス感染症の関係で養護教諭指導リーダー研修を中止しましたが、本年度は実施をしていきますので、御協力をよろしく申し上げます。それぞれの研修についても、感染症の状況によってどのようになるか分からないところではありますが、学校の教育活動を止めないことと同じように、養護教諭等の研修についても止めずに進め

ていきたいと思っています。方法は変わるかもしれませんが実施をしていきたいと思いません。

学校保健に関する書籍・資料の改訂版等がたくさん出されました。お手元に届いていると思いますので、内容を確認し、有効に活用をお願いします。学校生活管理指導表（心疾患・腎疾患）については、新しい物（2020年度版）が日本学校保健会のホームページからもダウンロードができます。近々静岡県の医師会のホームページにもアップされます。

学校保健統計調査について

昨年度の静岡県学校保健統計調査の身長、体重の結果について、速報値を静岡県教育委員会ホームページ「学校保健のページ」にアップしました。

### 3 役員及び理事の紹介

### 4 議事

(資料 地区理事に配付済み)

#### (1) 令和2年事業報告

白井会長

昨年度はコロナの影響で様々な研修会等を中止とした。

第1回代表者研修会は紙面開催

第2回代表者研修会は役員の人数を減らし、時間短縮

夏季研修会は開催中止（講師の資料提供のみ）

冬季研修会も中止

第3回代表者研修会は、初めての試みだったがZoomによるオンライン会議にて実施

各地区の代表の方に参加を依頼していた全国養護教諭連絡協議会研究協議会は、動画配信となったため、役員のみが参加した。研修報告を見ていただきたい。

令和2年度は、思うように研修会が開催できなかったが、その中でも各委員会については、地区から出ていただいた代表の先生方のご尽力により、例年通りの活動ができた。特に「たちばな63号」については、「コロナの状況を記録に残そう」ということで、県内の多くの先生方にご意見をいただきながら発刊することができ、会員に無償配付することができたことは成果の一つに上げられると思う。

調査研究委員会について、例年は第2回の代表者研修会の中で報告できていたが、委員が集まらなかったこともあり、12月にまとめをした。地区独自の調査に活用している地区については、時期が遅くなりご迷惑をおかけした。

#### (2) 令和2年度会計報告

井原会計

収入について、たちばな63号を無償配付としたため、収入が大幅減となっている。冬季研修会も中止となったため、収入が0円となっている。

支出については、研修会の中止等により、予算額と大きく変わっている。

会計監査報告

山村会計監査

### (3) 養護教諭にかかわる組織・静岡県養護教諭研究会会則

白井会長

若い先生方や新採の先生方は、組織について理解できていない方もいると思うので、資料を活用していただき、養護教諭研究会がいろいろな組織の方々に支えられていることをお知らせいただきたい。

会費について、コロナの影響で研修会等の中止が考えられたため、令和2年度に限り会費を2,000円とすることとした。本年度もまだこのような状況が続いているため、会費を2000円にさせていただいた。

### (4) 令和3年度事業計画案

白井会長

はじめに、「たちばな64号」について、本年度も引き続きコロナの記録を残すこととし、会員に無償配付を考えている。

静岡県養護教諭研究会のテーマは、昨年度と同じテーマで事業を計画している。

会員数は、783名でスタートした。

理事の先生方には代表者研修会の日程を予定に入れていただきたい。

毎年夏に小・中・高交流研修会を行い理事の先生方に出席していただいていたが、本年度も実施をしないことが決定している。

研究大会・視察研修参加計画は、変更等も考えられるが現時点で決まっていることを載せてある。予定に入れておいていただきたい。

### (5) 令和3年度研修計画案

白井会長

#### ① 令和3年度夏季講習会及び夏季研修会

本年度は、何とか実施したいという思いがあり、県教委とも相談しながら、Zoomでのオンライン研修を計画している。例年は、終日の研修会になっているが、オンライン研修となるため、午後のみ開催となる。前半が、県教委主催の悉皆研修、後半が養護教諭研究会主催の研修会となる。

オンライン研修の受け方について、各地区で集まってサテライトのような形式での開催ができないか等を考え、理事の先生方にアンケートを取らせていただいたが、事前のリハーサルが必要になることや出張文書の出し方がばらばらになる等、課題が見えてきたため、各校で研修を受けていただくことにした。

地区によっては、研修会の日が閉庁日の学校もあるため、県教委、顧問校長と相談をしながら、何らかの方法で受けられるようにしていきたいと考えている。

講演については、昨年度からコロナに関してのQ&Aでお答えいただいている、浜松医科大学医学部の堀井俊伸教授の講演を計画している。

#### ② 令和3年度冬季研修会

本年度は、「実践事例集17」発刊の年になるため、事例集を使った研修会を計画している。感染対策をとりながらの開催となるため、夏季研修会同様、終日開催ではなく、午後のみ研修会とする。



会場については、現在検討している。

内容については、監修者の静岡市立東中学校養護教諭、平山美奈子先生から事例集の活用方法について講話をいただいたあと、グループワークで事例検討会を行いたいと考えている。

参加人数は、感染予防の観点から、例年の200人から100人に変更する。

詳しいことは、第2回の代表者研修会でお伝えする。

## (6) 各委員会活動案

### ① 会誌「たちばな64号」編集委員会

鈴木雅委員長

昨年度同様に計画を立てている。本年度は、保健室紹介の掲載を考えている。

新型コロナウイルス感染症への対応について、引き続き掲載をしていく。静岡大学の鎌塚先生にも資料提供を依頼している。

各地区の先生方に実践の紹介や資料をお願いしたい。

本年度も無償配付とする。

原稿配分について、役員で決めさせていただいたことをご了承いただきたい。

堀井教授へ質問がある場合は、その都度、連絡をいただきたい。

回答については、ホームページへアップもしていく。

### ② 「実践事例集17」編集委員会

原委員長

本年度12月の発刊を目指して編集作業を進めている。

昨年度のアンケート結果をできるだけ多く掲載できるよう工夫しながら作業を進めている。

### ③ 調査研究委員会

鈴木理委員長

冊子の印刷について、例年は委員長の学校等で印刷を行っていたが、本年度からは業者に委託することとした。予算の中にも入れてある。

委員会については、状況によってWeb開催の可能性もある。

本年度は例年通りに冊子が配付できるよう作業を進めて行きたいと考えている。

### ④ ホームページ編集委員会

加藤委員長

保健室訪問・掲示物についてのホームページへの掲載については、所属校の校長先生の承認を得てから掲載させていただいている。

今後の状況を見ながら、できるだけメールでのやりとりができるよう考えている。

バージョンアップが必要となってきたため、今後バージョンアップをしていく方向で研修を進める。夏季研修会で会員に知らせた後、約2ヶ月程度閲覧できなくなる。その間は「工事中」とする。作業終了後は、理事の先生方を通して会員に閲覧可能のお知らせをしたいと考えている。

## ⑤ 役員選出委員会

川本委員長

本年度は、令和4・5年度の役員選出の年になる。

7月の月上旬に役員選出委員会を開き、選出方針等を確認した後、理事の先生方に、会長・副会長の選出をお願いすることになる。

次期会長については、静西管内からの選出となる。

## (7) 令和3年度会員の実態

臼井会長

昨年度のスタートは793名だったが、本年度のスタートは783名と、10名少なくなっている。小学校数7校減、中学校数が2校減、複数配置校2校減となっている。また、静岡の未配置校は0校となった。

静岡県養護教諭研究会会員の実態の表について、昨年度までは「職名」となっていたが、現在、職名は全て「養護教諭」となっているため、「雇用形態」に変更し、正規・任期付・臨時で分けをしてある。さらに、再任用の人数が分かるように枠を付け加えた。

年度途中の複数配置等の連絡については、電話にて名簿担当の袋井市立高南小学校（谷口）まで連絡をいただきたい。

## (8) 令和3年度予算案・会費納入

井原会計

予算案については、コロナの影響に予算額が大きく変動することも考えられるが、皆様からお預かりしている会費を、皆様に還元できるように有効に活用させていただきたいと考えている。

7月16日までに会費（一人当たり2,000円）の納入をお願いしたい。

令和2年度より、振込手数料の免除がされなくなったため、各地区で手数料の負担をお願いすることになった。

会費納入後、「会費納入報告書」を会計までFAXで報告をしていただきたい。

## 5 連絡事項

### (1) 会報「きんもくせい」について

川本書記

本年度も、昨年度と同様に年4回の発行を予定している。

事務局から理事の先生方へメールで送信するので、地区の会員の皆様への配付をお願いしたい。

校内での回覧も周知していただきたい。

地区紹介に割り当てられた地区には、事前にメールで連絡をするので原稿作成の御協力をお願いしたい。

### (2) 地区別担当割り当てについて

臼井会長

例年、代表者研修会の中で、理事の先生方に担当を決めいただいているが、時間短縮を考え、本年度は役員が今までの割り振り等を見ながら地区別担当割り当てを決めさせていただいたことをご了承いただきたい。

本年度は、役員選出の年になるため、役員選出委員についても理事の先生方に割り振りをさせていただいた。

会計監査も担当の理事の先生を割り振りさせていただいた。

担当を確認していただき、選出後、5月21日までに事務局へ報告をお願いしたい。

たちばなの原稿依頼について、「声」の中の校長先生と静東事務所については副会長から依頼をする。

全国養護教諭連絡協議会への参加については、全国レベルの研修会に会員の皆様に参加していただく取り組みとして行っている。こちらの報告は、11月初旬になる。コロナの影響等で変更があった場合は、参加について検討し、連絡をする。

### (3) 事務局より

池谷事務局

#### ① 令和3年度役員、地区理事名簿及び連絡網

メール送信時は、件名に「静岡県養護教諭研究会」と必ず入れるようにしている。

#### ② 理事依頼事項の報告について

報告一覧を見て、期日までの報告をお願いしたい。

第1回の小委員会について、会場がB-nestになることを選出された委員の先生にもお伝えいただきたい。

### (4) 各地区から

○コロナ禍の「女性の貧困」ということで、生理用品の無償配布がどのように扱われているか各地区の様子が話題となった。

○教職員健康診断について、助成される項目や申請の仕方が変更されたことについて各地区の情報交換を行った。

### (5) その他

今回、研修会の資料については訂正し、再度送信させていただく。

緊急時連絡体制についても、併せて確認していただきたい。

研修報告、健康増進課からの資料等もあるので見ていただきたい。

全養連の研修報告に書いてある、日本学校保健会「学校保健ポータルサイト」で紹介されている、アナフィラキシー緊急対応の模擬訓練に有効なアクションカードなどはとてもよいものになっているので、会員の皆様にも紹介してほしい。

「こどもから大人へのメッセージ事業」は本年度も行う。申込みは各校で行うことになっている。

「生活習慣病予防のための啓発媒体」は小学校に配付されている。中学校での指導にも活用できる内容のため、小中学校で共有してほしい。

「ふじのくに i マップ」を理事の皆様にお配りをした。今後、各校にも配付したいと考えている。県内の支援団体や相談機関等が載っているので、保健室で活用してほしい。